ファミリーコンピュータ™

4人打ち麻雀

HVC-FJ

取扱説明書



Nintendo®

このたびは任天堂〝ファミリーコンピュータ カセット・4人打ちマージャン（HVC－FJ）〟をお買いあげいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用の前に取扱い方、使用上の注意等、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しい使用法でご愛用ください。
なお、この「取扱説明書」は大切に保管してください。

目次

1.使用上の注意

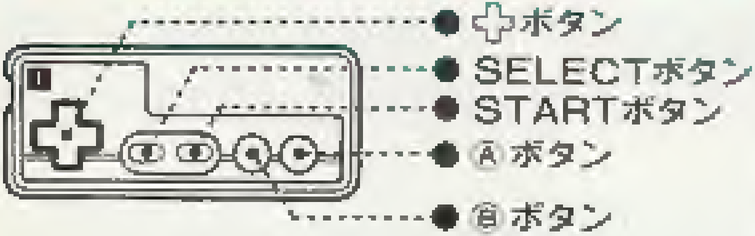
1) 精密機器ですので、極端な温度条件下での使用や保管および強いショックを避けてください。また絶対に分解しないでください。

2) 端子部に手を触れたり、水にぬらすなど汚さないようにしてください。故障の原因となります。

3) シンナー・ベンジン・アルコール等の揮発油ではふかないでください。

※ファミリーコンピュータの仕様および外観の一部を予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

2.コントローラー各部の名称と操作の説明



＊Ⅰコントローラーを使用します。

■牌を捨てる：✚ボタンでカーソル（□印）を捨てる牌の上に移動し、Ⓐボタンを押す。

■ロン（つもあがり）をする
：✚ボタンで処理表示をロンまたはツモに合わせて、Ⓐボタンを押す。

■リーチをかける：✚ボタンで処理表示をリーチに合わせ、Ⓐボタンを押す。

■ポンをする：✚ボタンで処理表示をポンに合わせ、Ⓐボタンを押す。

■チーをする：✚ボタンで処理表示をチーに合わせ、Ⓐボタンを押す。

■カンをする：✚ボタンで処理表示をカンに合わせ、Ⓐボタンを押す。

（注）カーソル移動は✚ボタンの左右方向、処理表示合わせは、上下方向を押してください。Ⓑボタンは、Ⓐボタンと同じ働きをします。



●STARTボタン

押すとSELECTボタンでセットしたゲームが始まります。

●SELECTボタン

- タイトル画面で、このボタンを押すごとに●印が移動しますので、食い断の有・無を選択してください。
- ゲーム中に押すとOPEN MODEのON/OFFができ、他家の手牌を見ながらゲームができます。
- 役表示中に押すと、あがった時の画面に戻ります。

※チーまたは暗槓で複数の組み合わせがある時は、カーソルが表われます。カーソルがチーまたは暗槓したい牌に合った時にⒶボタンを押してください。

※プレイ中に、ロン・ポン・チー・カンができる場合、カーソルがその牌を示して止まります。処理表示を合わせてⒶボタンを押してください。何もしない時はそのままでⒶボタンを押してください。

※あがった時、流れた時、役表示の時など画面が止まっている時にⒶボタンを押すと、次の画面に進みます。

※ゲームの得点はリセットスイッチを押したり、電源スイッチをOFFにすると消去されます。

3.遊び方

基本ルール

1. 半荘は東南回わし。
2. 得点は2万7千点持ちで、3万点返し。
3. 4本場までは1飜縛り、5本場からは2飜縛り。
4. あがりの前に役が確定していれば、後づけあがり可。
5. 食い断の有・無はゲームスタート時に選択可。
6. 暗槓と同時に槓ドラ発生、明槓は捨て牌後に発生。
7. 二人あがりの時は頭ハネ。
8. 裏ドラあり、槓裏なし、ドラはすべて次の牌。
9. あがり牌のうち、一牌でも捨て牌中にあれば振聴。国士無双の十三門聴も同様に振聴とみなす。また、あがり牌を見逃した同順内での栄和は不可。
10. 不聴罰符は場3千点。(形式聴牌可)
11. 錯和(チョンボ)は一切なし。
12. 片あがりによる栄和はなし。但し、自摸れば可。

立直について

1. 立直点は千点。立直は打牌によって他家のあがりがなければ成立。
2. 一発あり。但し、縛りの対象とならない。チー、ポン、カンがあった時の打牌によるあがりは一発とする。
3. 立直後の暗槓で、待ちの変わるものは不可。
4. 自摸順のない立直はかけられない。
5. 振聴立直あり。
6. 2翻縛りの場合、立直時に立直を含めて2翻が確定していないと立直はかけられない。

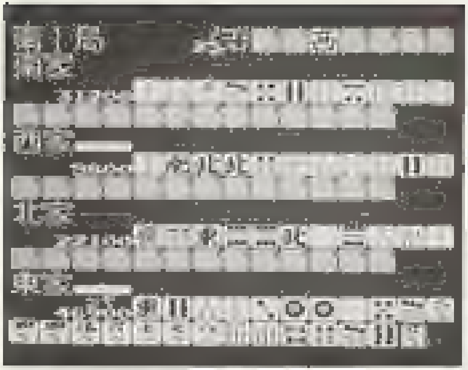
槓について

1. 明槓後の嶺上開花は、明槓牌を捨てた家の放銃とみなす。この際、振聴は問わない。連槓後の嶺上開花は、放銃としては扱わない。
2. 暗槓の槍槓は国士無双といえども不可。
3. 海底での槓はできない。

■平局について

1. 荒牌　　：東場で荘家が不聴の時、親流れとして積場は次へ移る。親流れは1本場とする。(四家不聴は連荘)
2. 四風牌　：局の第一巡内に四家が同じ風牌を捨てた時。北家が捨てると同時に平局となる。
3. 三家和　：一枚の捨て牌で、三家が栄和した時に平局となる。
4. 四開槓　：4つ目の槓をした家は嶺上牌を取り、打牌する。その牌で他家があがらなかった時に平局となる。
四槓子聴牌時は、5つ目の槓宣言の時点で平局となる。
5. 九種九牌：チー、ポン、カンの無い開局一巡目の自摸の時に権利あり。
6. 四家立直：四家目の立直が成立した時点で平局になる。

※尚2～6は、すべて連荘。





■その他、注意事項

1. 画面右上にある7枚は王牌でドラ牌がめくられます。局終了時に王牌の左端にめくられるのが裏ドラです。
2. コンピュータは理牌をしません。但し、OPEN MODEの時は理牌をします。自摸切りは、よく見ていると見分けることができます。
3. あがり役は最高7つまでしか表示されませんが、得点はすべての役が計算されています。
4. 点数計算は、下式のとおりです。
   アガリ点(切り上げ前)×飜数＝得点＋リーチ棒・積み棒の点
5. 立直がかからない時は、次のような場合が考えられます。
   - 聴牌していない。
   - 2飜縛りの時、役が確定していない。

6. あがりだと思うのにあがれない時は、次のような場合が考えられます。
- 振聴をしている。
- 片あがりをしている。
- 役が無い。
- 2翻縛りなのに2翻の役が無い。



7. 半荘終了時にトップ賞の計算が行なわれ、終了時の得点と3万点に対する点が表示されます。
尚、トップが3万点未満でも西入はしません。
8. 九種九牌で平局する時、または十三不塔は処理表示をツモに合わせてⒶボタンを押します。
9. チーやポンのあと、続けてカンはできません。

役について

1 役満は5倍役満まで計算します
2 七対子は2翻25符とします
3 平和での自摸和は20符、栄和は30符とします
4 人和は、チー、ポン、カンの無い第一巡目内の栄和とします
5 地和は、チー、ポン、カンの無い第一巡目内の自摸和とします
6 暗槓後の嶺上開花による天和、地和はありません
7 十三不塔は、荘家の場合は配牌時、散家の場合はチー、ポン、カンの無い第一自摸で、手牌が雀頭の対子以外すべて孤立牌である時とします
8 四カン振切、流し満貫は、他家にチー、ポン、カンされてはならず、また同時に二家が完成させた時は、荘家から順に優先します

※ファミリーコンピュータカセット「麻雀HVC MJ」とはルール・テクニック操作方法が多少異なりますのでご注意ください。
※麻雀のルールは地域によって多少の違いが見受けられます。この「4人打ちマージャン」もお互いあわせていただいた方が採用されている。ルールとは多少異なる場合があるかもしれませんがご了承ください。
※ご家庭のテレビによって多少映像がはみ出る場合がありますがご了承ください。

役の一覧表

名称		翻数	条件
門前清模和	ツモ	1翻	
平和	ピンフ	1翻	
断么九	タンヤオ	1翻	
一盃口	イーペーコー	1翻	
海底摸月	ハイテイツモ	1翻	
河底撈魚	ハイテイロン	1翻	
嶺上開花	リンシャンカイホー	1翻	
搶槓和	チャンカン	1翻	
一発	イッパツ	1翻	
立直	リーチ	1翻	
ダブル立直	ダブルリーチ	2翻	
全帯么	チャンタ	2翻	食い下がり
三色順	サンシュン	2翻	食い下がり
三色同順	サンショク	2翻	食い下がり
一気通貫	イッツウ	2翻	食い下がり
三色同刻	サンドウポン	2翻	

名	称	翻(副露)	条　件
三暗刻	サンアンコウ	2翻	
小三元	ショウサンゲン	2翻	
対々和	トイトイ	2翻	
三連刻	サンレンコウ	2翻	
三槓子	サンカンツ	2翻	
七対子	チートイツ	2翻	
二盃口	リャンペイコウ	3翻	
混一色	ホンイツ	3翻	食い下がり
純全帯么	ジュンチャン	3翻	食い下がり
混老頭	ホンロウトウ	3翻	
清一色	チンイツ	6翻	食い下がり
么九振切	ナガシマンガン	満貫	
十三不塔	シーサンプトウ	満貫	
天和	テンホウ	役満	
地和	チーホウ	役満	
人和	レンホウ	役満	

名称		飜(副露)	条件
四暗刻	スウアンコウ	役満	
単吊	タンキ	役満	四暗刻の時に限る
国士無双	コクシムソウ	役満	
十三門聴	ジュウサンメンマチ	役満	国士無双の時に限る
字一色	ツウイーソウ	役満	
大三元	ダイサンゲン	役満	
小四喜	ショウスウシ	役満	
清老頭	チンロウトウ	役満	
四槓子	スウカンツ	役満	
緑一色	リュウイーソウ	役満	
大車輪	ダイシャリン	役満	筒子に限る
九門聴	キュウメンマチ	役満	九連宝燈の時に限る
九連宝燈	チュウレンポウトウ	大役満	万子に限る
大四喜	ダイスウシ	大役満	

MEMO

任天堂株式会社

本　　社　〒605 京都市東山区福稲上高松町60番地
TEL (075)541－6111番(代表)

東京支店　〒101 東京都千代田区神田須田町1丁目22
TEL (03) 254－1761番(代表)

大阪支店　〒542 大阪市南区長堀橋筋1丁目32
TEL (06) 271－5514番(代表)

名古屋営業所　〒451 名古屋市西区幅下2丁目18番9号
TEL (052)571－2506番(代表)

札幌営業所　〒060 札幌市中央区北九条西18丁目2番地
TEL (011)621－0513番(代表)

岡山営業所　〒700 岡山市奉還町4丁目4番11号
TEL (0862)52－1821番(代表)